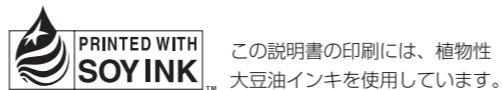


# GEX-PO3TV

アナログTVチューナー

## 取扱説明書

# carrozeria



この説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

<各窓口へのお問い合わせ時のご注意>  
市外局番「0070」で始まる ☎ フリーフォン、および「0120」で始まる ☎ フリーダイヤルは、PHS、携帯電話などからのご使用になれません。また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

### ご相談窓口のご案内

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口 ● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求窓口

### カスタマーサポートセンター（全国共通フリーフォン）

受付時間 月曜～金曜 9：30～18：00、土曜・日曜・祝日 9：30～12：00、13：00～17：00（弊社休業日は除く）

#### ●カーオーディオ／カーナビゲーション商品

電話 ☎ **0070-800-8181-11** 【一般電話】 **03-5496-8016**  
ファックス **03-3490-5718**  
インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/>  
※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

### 修理窓口のご案内

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の『故障かな？と思ったら』を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、① 型名、② ご購入日、③ 故障症状を具体的にご連絡ください。

修理についてのご相談窓口 ● お買い求めの販売店に修理の依頼ができない場合

### 修理受付センター（沖縄県を除く全国）

受付時間 月曜～金曜 9：30～19：00、土曜・日曜・祝日 9：30～12：00、13：00～18：00（弊社休業日は除く）

電話 ☎ **0120-5-81028** 【一般電話】 **03-5496-2023**  
ファックス ☎ **0120-5-81029**  
インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/repair.html>  
※インターネットによる修理受付対象商品は、家庭用オーディオ／ビジュアル商品に限ります

### 沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）

受付時間 月曜～金曜 9：30～18：00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話 【一般電話】 **098-879-1910**  
ファックス **098-879-1352**

部品のご購入についてのご相談窓口 ● 部品（付属品・リモコン・取扱説明書など）のご購入について

### 部品受注センター

受付時間 月曜～金曜 9：30～18：00、土曜・日曜・祝日 9：30～12：00、13：00～18：00（弊社休業日は除く）

電話 ☎ **0120-5-81095** 【一般電話】 **0538-43-1161**  
ファックス ☎ **0120-5-81096**

### パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

この説明書は、再生紙を使用しています。

© パイオニア株式会社 2007

< KAMZF > < 07B00000 > < CRA4012-A >

## 安全上のご注意

マークの意味については、別添えの『安全上のご注意』をご覧ください。

### 警告

#### 【使用方法】

##### 運転中に操作をしない



画面を長く見る必要がある複雑な機能は、自動車の運転中に操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。また運転中、画面を注視する時間は必要最低限としてください。

##### 走行中にテレビやビデオを見ない



運転者がテレビやビデオなどを見る時は、必ず安全な場所に車を停車させてください。走行中にテレビやビデオなどを見ると、前方不注意となり交通事故の原因となります。

#### 【異常時の処置】

##### 故障のまま使用しない



画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

##### 異常のまま使用しない



万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

##### ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

## ご使用前に知っておいていただきたいこと

### 安全走行のために

- 走行中に運転者が画面に気を取られたり、操作に迷ったりすると思わぬ重大な事故を招くおそれがあり大変危険です。交通の状況、歩行者などに十分注意しながら運転してください。また、運転者が操作するときは、必ず車を安全な場所に停車させてください。

### 映像出力に接続したモニターについて

- 本機の映像出力は、パーキングブレーキのON/OFFに関係なく映像が出力されます。本機の映像出力に接続したモニターは、運転者が走行中には絶対に映像を見ることができないように設置してください。

### バッテリー上がりを防ぐために

- 本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。エンジンがかかっていないときに本機を使用すると、バッテリー上がりの原因となります。

### バッテリー交換時のご注意

- 車のバッテリー交換などで電源が供給されなくなると、本機は初期状態に戻ります。本機が初期状態に戻ると、登録したチャンネル情報が消去されます。「チャンネルを自動で登録する(BSSM)」を参照して再設定してください。

### アナログテレビ放送からデジタルテレビ放送への移行について

- 地上デジタルテレビ放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は2006年末までに放送が開始されました。今後も受信可能エリアは順次拡大されます。この放送のデジタル化に伴い、地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。

### 地上デジタルテレビ放送をご覧になるには

- アナログテレビ受信機能のみ搭載の機器単体（本機）では、地上デジタルテレビ放送をご覧になれません。地上デジタルテレビ放送をご覧になるには、専用の地上デジタルTVチューナーが必要です。

### その他

- 本機は、パイオニア製IP-BUSメインユニット専用のアナログTVチューナーです。本機は、組み合わせたメインユニットから操作します。
- 本書に記載されているイラストや画面例などは、実際の製品と異なることがあります。
- 本書に記載されている企業名や製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。
- 外部機器を接続して録画したときに、本機の故障、誤動作または不具合により、録画されなかった場合の内容、および消失した録画データの補償についてはご容赦ください。

# はじめてお使いになる時の設定

購入後はじめて使うときは、次の設定が必要です。

## 映像入力の設定

本機を接続した機器によって、映像入力の設定が必要になります。詳しくは、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

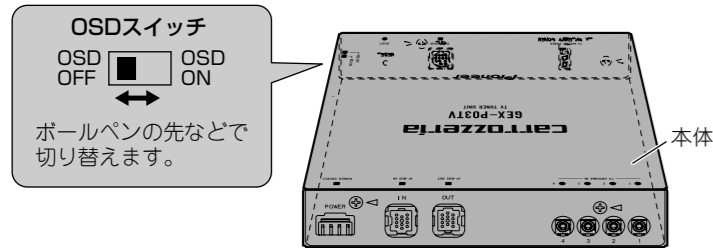
## チャンネルの登録

購入後はじめて使うときや他の地域に移動したとき、バッテリーを外したときやリセットボタンを押したときは、チャンネルの登録が必要です。BSSM（チャンネルの自動登録）をすると、受信可能なチャンネルを自動的に探して本機に登録します。操作の前にチャンネルを登録してください。→「チャンネルを自動で登録する（BSSM）」または『メインユニットの取扱説明書』

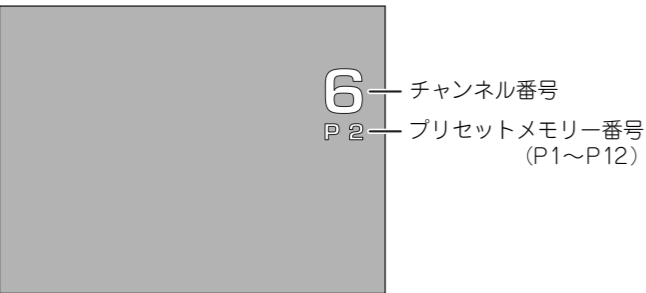
## OSDスイッチの設定

OSDスイッチをONに設定すると、テレビ映像上にチャンネル番号やプリセットメモリー番号が表示されるようになります。出荷時はOFFに設定されています。組み合わせた機器側でこれらの情報が表示されない場合や、リアモニターに表示させたい場合はONに設定してください。

- OSDスイッチを切り替えたときは、本機のリセットボタンを押してください。→「リセットのしかた」（本書裏面）
- OSD表示は、チャンネルなどの操作時に表示され、数秒後に自動的に消えます。



OSD表示例



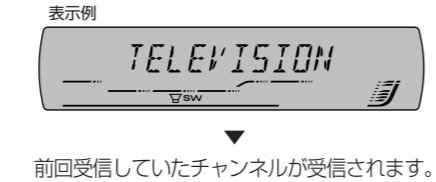
# 基本操作

本機は、組み合わせたメインユニットから操作します。本書では、代表モデルを例に操作説明をしています。メインユニットの取扱説明書にテレビの操作説明が記載されている場合は、メインユニットの取扱説明書をご覧ください。

## テレビを見る

### 1 メインユニットのソース切替ボタンを押して、ソースをTVにする

→『メインユニットの取扱説明書』



前回受信していたチャンネルが受信されます。



- KEH-P555/P300をお使いの場合は、ソースを「EXT」にします。
- 受信をやめるには、ソースをOFFにします。
- ステレオ放送や音声多重放送を受信すると、それぞれのマークがメインユニットに表示されます。

### 2 TVモニターの画像切替ボタンを押して、映像をTVにする

→『TVモニターの取扱説明書』

- VTRなど、本機の映像出力を接続した先に切り替えます。
- メインユニットによっては、ソースをTVに切り替えると映像も自動的に切り替わります。
- トンネル内や山かげ、ビルの谷間など、電波がさえずられやすい場所、電波の弱い地域では、受信状態が悪くなる場合があります。

### 3 受信したいチャンネルを選ぶ

操作画面や操作ボタンから操作します。

▲/▼\*：プリセットメモリーを順に送って選局します。1秒以上押すと、プリセットメモリーを連続で送りながら選局します。

◀/▶：チャンネル番号を順に送ってマニュアル選局します。1秒以上押すと、受信可能なチャンネルを自動的に探します。(SEEK)

1~6：プリセットメモリーの登録と呼び出しができます。(→次ページ)

FUNC\*：基本操作以外の機能を使うときに使用します。(→次ページ)

\*メインユニットによっては、操作できない場合があります。

## バンドを切り替える

本機では2つのバンド（TV1/TV2）があり、それぞれのバンドごとにプリセットメモリー（P1~P12）を使い分けることができます。

### 1 メインユニットのバンドボタンを押す

→『メインユニットの取扱説明書』

ボタンを押すごとに、次のように切り替わります。

TV1 ↔ TV2（各12局）



- 普段はTV1を使用し、旅行先やBSSM（→次ページ）ではTV2を使用するなど、用途によって使い分けると便利です。

## チャンネルを手動で登録する（マニュアルプリセット）

お好みのチャンネルを、プリセットメモリー（→前ページ）のP1~P6に、バンドごとに6局まで手動で登録することができます。

### 1 登録したいチャンネルを選ぶ（→前ページ）

### 2 登録させたいメインユニットのプリセットボタン（1~6）を2秒以上押す

現在受信中のチャンネルが、選んだプリセットメモリーに登録されます。

- メインユニットによっては、P7~P12にも手動で登録できます。

## いろいろな操作のしかた

基本操作以外の機能を使うには、ファンクション（FUNC）ボタンで機能を選んで操作します。

- 一部のメインユニットでは、操作が異なったり、ファンクション機能がご使用になれません。→「操作が異なるメインユニットについて」（→次ページ）

### 1 メインユニットのファンクションボタンを押す

→『メインユニットの取扱説明書』

ボタンを押すごとに、以下のように切り替わります。



- ファンクションモードを解除するときは、バンドボタンを押します。

## チャンネルを自動で登録する（BSSM）

受信状態が良いチャンネルを、プリセットメモリー（→前ページ）のP1~P12に、バンドごとに最大12局まで自動で登録することができます。

### 1 メインユニットのファンクションボタンを押して、[BSSM]を選ぶ

### 2 ▲ボタンを押す\*

自動登録（BSSM）が開始されます。



BSSMが完了すると、プリセットメモリーにチャンネルが登録されます。

- メインユニットによっては、▲ボタンを2秒以上押すことで、BSSMが開始されます。
- BSSMを中止するときは、BSSM中に▼ボタンを押します。

## 音声を切り替える（MPX）

音声多重放送を受信しているときは、主音声（MAIN）と副音声（SUB）を切り替えることができます。

### 1 メインユニットのファンクションボタンを押して、[MPX]を選ぶ

### 2 ◀/▶ボタンを押す

ボタンを押すごとに、以下のように切り替わります。

MAIN → SUB → MAIN+SUB (M+S)

→ 元に戻る



# 操作が異なるメインユニットについて

下記のメインユニットでは操作のしかたや動作が一部異なります。該当するメインユニットをお使いの場合は、下記を参考に操作してください。

## KEH-P1000

ファンクションモードが無いため、次のような操作になります。

- 「チャンネルを自動で登録する（BSSM）」（→前ページ）の操作をするときは、[D] ボタンを2秒以上押します。BSSMを中止するときは、BSSM中に [D] ボタンを押します。
- 「音声を切り替える（MPX）」（→前ページ）の操作をするときは、[RPT] ボタンを押します。

FUNC1 ↔ FUNC3

## KEH-P555

本機をエクスターナルユニット（EXT）として認識するため、次のような操作になります。

- テレビを見るときは、ソースを「EXT」にします。
- ファンクションモードが無いため、「チャンネルを自動で登録する（BSSM）」および「音声を切り替える（MPX）」（→前ページ）の機能はご使用になれません。

- ファンクションボタンで [FUNC1] を選び、▲ボタンを押すと、プリセットメモリーを自動的に送ることができます（プリセットスキャン）。プリセットスキャンを中止するときは、プリセットスキャン中に▲ボタンを押します。
- ▲/▼ボタンでのプリセット選局（UP/DOWN）はできません。
- 別売りモコン「CD-R66」のチューナーボタンでソースを「EXT」に切り替えることはできません。
- ステレオ放送や音声多重放送を受信しても、それぞれのマークはメインユニットに表示されません。

## リセットのしかた

本機を初期状態に戻すことができます。

次のようなときは、本機をリセットしてください。

- 接続が終わったとき
- 本機が正しく動作しないとき



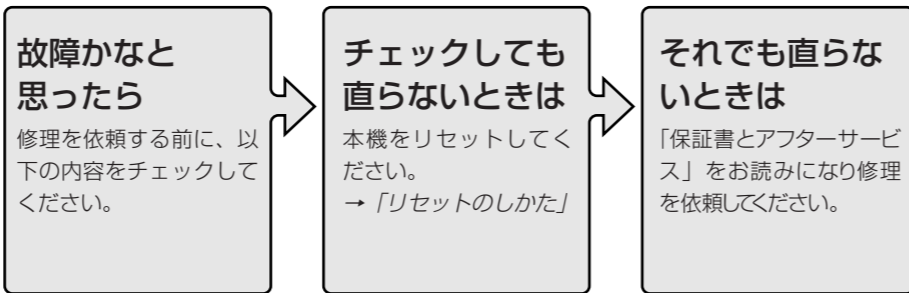
- リセットすると、本機に登録したチャンネル情報が消去されます。「チャンネルを自動で登録する(BSSM)」(本書表面)または『メインユニットの取扱説明書』を参照して再設定してください。

### 1 ボールペンの先などでリセットボタンを押す



リセットボタン

## 故障かな?と思ったら



症状	原因	処置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線やコネクターが正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください。 →『 <a href="#">取付説明書</a> 』
	ヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因を解決し、切れたヒューズを同じ容量のヒューズと交換してください。→『 <a href="#">取付説明書</a> 』
	ノイズなどが原因で内蔵のマイコンが誤動作している。	リセットボタンを押してください。 →「 <a href="#">リセットのしかた</a> 」(本書裏面)
テレビの映りが悪い。 "ジージー、ザーザー" という雑音が多い。	チャンネルが合っていない。	チャンネルを正しく合わせてください。 →「 <a href="#">基本操作</a> 」(本書表面)
	放送局の電波が弱い。	他のチャンネルを選局してください。 →「 <a href="#">基本操作</a> 」(本書表面)
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態の安定した場所に移動して視聴してください。
音声は出るが、映像が出ない。	接続した機器の映像入力の設定をしていない。	接続した機器の映像入力の設定をしてください。 →『 <a href="#">接続した機器の取扱説明書</a> 』
自動選局できない。	強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。

## 保証書とアフターサービス

### 保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。  
保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

### 保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

### 保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。所在地、電話番号は本機に付属の『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご覧ください。

### 保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

### 補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を製造打ち切り後、最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

### ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

## 用語解説

### OSD

OSDとは、「On Screen Display (オンスクリーンディスプレイ)」の略で、映像上に文字などの情報を表示する機能です。

### BSSM

BSSMとは、「Best Stations Sequential Memory (ベストステーションズシーケンシャルメモリー)」の略で、受信状態の良い放送局を、チャンネル順にプリセットメモリーに登録する機能です。

### エクスターナルユニット (EXT)

エクスターナルユニット (EXT) とは、メインユニットがソースとして対応していないパイオニア製品 (将来発売される製品など) の基本的な機能をコントロールできるように用意している特別なソースのことです。接続可能なエクスターナルユニットの台数は、メインユニットによって異なります。他のソースユニットも組み合わせる場合、メインユニットの接続可能なエクスターナルユニットの台数に注意してください。

# 仕様

### 共通部

**使用電源**：DC 14.4 V（10.8 V～15.1 V 使用可能）

**アース方式**：マイナスアース方式

**最大消費電流**：0.6 A

**本体寸法**：173 (W) ×31 (H) ×151 (D) mm

**質量**：0.8 kg

### TVチューナー部

**受信チャンネル**：VHF 1～12 ch、UHF 13～62 ch

**映像信号方式**：NTSC

**実用感度**：6 dBμ（75 Ω、モノラル音声）

**映像S/N**：40 dB以上（59 dBμ RF入力、白100%）

**映像雑音制限感度**：40 dBμ

**アンテナ入力**：4 ch ダイバシティ（φ3.5ミニプラグ）

**アンテナケーブル長**：左 4 m、右 5.5m

### 付属品

ダイバシティ

フィルムアンテナ：1式

アンテナ変換コード：1

面ファスナー：2組

電源コード：1

映像出力コード

（15 cm）：1

RCAビデオコード

（黄）（6 m）：1

IP-BUSケーブル

（3 m）：1

取扱説明書：1

取付説明書：1

保証書：1

安全上のご注意：1

ご相談窓口・

修理窓口のご案内：1

### その他、商標、著作権など

- あなたが録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

- その他、製品名等の固有名詞は各社の商標または登録商標です。

- 本機は日本国内専用です。

- 本製品の仕様および外観は、改善のため予告なく変更する場合があります。また、説明書の内容と実物が異なることがあります。その場合における本製品の改造、またはお取り替えのご要望には応じかねます。